



『ひかり』の声

スクールカウンセラー（SC） 秋山邦久・浅沼知一・伊勢谷凡子・上村佐知子
佐川利沙・佐藤さゆ里・佐々木百合・三浦奉宣・濱田拓（文責）

【ハリネズミのジレンマ】

ドキドキワクワクの冬休みがやってきます。私は、数ある長期休みのうちで、なんといっても冬休みが一番好きでした。私は一人っ子で、3人家族だったので、いとこと集まってはにぎやかに過ごせる年末年始が楽しみでした。クリスマスでどんなに楽しいものを買っても、友達を呼ばなければ、一人で遊ぶことになってしまいます。年末のテレビCMに出ている玩具は、なぜか2人以上で遊ぶものばかりで、もらってからすぐに猛烈に熱が冷める、という事が何回かありました。最初のうちは、一人二人役で遊ぶのですが、やっぱりだんだん物足りなくなっていくます。ゲームでもそうでしたが、コンピューターの動きは、ある意味予想がたつというか、想定の内です。一方で、みんなで集まってゲームをやっていると、友達がドジをしたり、ギリギリの勝負になったりすると、腹がよじれるくらいに笑い転げたり、興奮するものでした。今でも同じです、みんなで集まってサッカーをやったり、食事会をしたり、そんな単純なことで、純粋に笑い転げることが出来る、そんなグループ活動が今でも好きなんだな、と私は思います。集団って、気を使う、疲れる一方で、予想外の展開や、感情の触れ合いがあります。「人前に出るのは怖いし、疲れるけど、たま～にいいことがある。だから人前に出るのはやめられない」、と話していた友人がいて、妙に納得した自分がいました。今年も、良かったと思えるような人のぬくもりを、皆さんも感じられるような年末年始であってほしいと思います。そして、私も、今年もちょっと楽しみにしております。



【背中で泣いてる、青鬼の美学】

突然ですが、アニマルパン三世のテーマに歌詞があるってご存知でしたでしょうか。実はあるのです。その中に、「いためることを恐れるあまりに、冷たく突き放す愛もあるさ」という一節があります。なんだか心に残る一節です。先日、「もののけの島のナキ」という映画を拝見しました。いわゆる泣いた赤鬼のリメイクです。人間と仲良くなりたい赤鬼に協力する青鬼という展開なのですが、ほろっと来たのが、最後の青鬼のとる心遣いです。自分と赤鬼が仲良くいたのでは・・・、と、これ以上話してしまうと見る人の楽しみを奪ってしまうので、割愛いたします。さて、何が言いたいのかという、私たちは、同じ態度で、親密さでどんな人とも付き合うって、難しいよねっということです。自分の入るグループ、環境によって、ふるまうルール、雰囲気というのは変わってしまいます。ふと、いつも自分と会っているときと、違う態度でふるまっている相手を見てしまった時、モヤモヤとした気持ちになる事って、誰だってあると思います。いつでもどこでも同じ態度でふるまうってとても難しい。そんな自分に疲れたときは、夜、月を見ながら冷蔵庫からアイスを取り出して食べてみてください。変わらず月があなたを照らしてくれるはずですよ。そうすると、等身大の自分を取り戻せるかもしれません。かなりキザに、でもちょっと真面目に心理学的なことをちりばめてみました。

1月カウンセラー出務日時（予定）

角館中 19日(木)13:30~15:30(佐川)
26日(木)13:30~15:30(佐川)
神代中 16日(月)13:30~17:30(濱田)
30日(月)13:30~17:30(濱田)
生保内中 19日(木)12:00~17:00(三浦)
西明寺中 20日(金)13:30~17:30(濱田)
27日(金)13:30~17:30(濱田)
桧木内中 25日(水)13:00~17:00(濱田)

右記の先生に電話で直接申し込むか、
担任の先生等を通じての申し込みも出来ます。

角館中 TEL: 53-2411
(担当: 佐々木 充先生)
神代中 TEL: 44-2110
(担当: 菅 教頭先生)
生保内中 TEL: 43-1181
(担当: 木本 教頭先生)
西明寺中 TEL: 47-2626
(担当: 布谷 教頭先生)
桧木内中 TEL: 48-2330
(担当: 三浦 明美先生)
北浦教育文化研究所: 43-3387
(担当: 浦山先生、鈴木先生、米澤先生)